

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	○学習規律を継続して指導し、校内研究の充実・授業のUD化を図りながら学習習慣の定着を図ってきたことが一定の成果を挙げた。 ○いじめ・いのちを考える日の取り組みなどで、学校・児童・保護者が一体となって「いじめを許さない」機運を高めてきた。いじめ事案にも組織で素早く対応したため事案も早期解決できた。これからはいじめ0を目指して指導を継続していく。 ○健康・体づくりについては、コロナ禍の中で児童の運動量については課題が見られたが、今後も家庭や地域と連携して、望ましい生活習慣の形成や児童の安全に関する資質・能力の育成に努めていく。 ○地域連携活動である体験活動の推進に関して、ほとんど保護者が「子供の心を豊かにしている」「麓小のよいところ」であると捉えている。これからも、「開かれた学校推進委員会」と連携を継続し、地域との連携を深めていく。 ○時間外の校内勤務時間を月に平均45時間以内をめざして取り組んできた。約6割の教員が守られている。
------------------	---

2 学校教育目標	「ふるさとを誇りに思い、やさしく・かしこく・たくましく生きる麓っ子の育成」
----------	---------------------------------------

3 本年度の重点目標	○子どもの「学び」を鍛える（学力向上） ⇨ 国語科・算数科授業による活用力の向上 ○子どもの「心」を鍛える ⇨ 鳥栖スタイル「三訓」「あいさつ」「時間」「清掃」を大切にされた指導を行う。 ○子どもの「体」を鍛える ○教師力向上・地域連携
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研究により取組の促進を図る。							主幹教諭 指導教諭 【学び育てチーム】
	○学習内容の定着と活用力向上のための授業実践	○友達と話し合う活動を通じて、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童80%以上	・年間1回、全員が公開授業及び授業研究会を実施する。 ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol1・2」を踏まえ、国語科・算数科を中心に、各教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。							主幹教諭 指導教諭 【学び育てチーム】
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権学習等を通して、子供の豊かな心が育てられていると、アンケートにて肯定的な回答をした保護者80%以上	・人権学習、人権集会等を実施し、全校児童の人権意識の向上を図る。 ・授業参観等で「特別の教科道徳」の授業公開を年に1回全学級で行う。							嬉野 古川 【心育てチーム】
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教師90%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。							吉松 戸越 【心育てチーム】
	◎ふるさとの自然や地域の人とふれあう体験活動の充実	◎体験活動や地域の方々とのふれあいを通じて、子供の豊かな心が育てられていると、アンケートにて肯定的な回答をした保護者90%以上	・地域の方々との共に行う体験活動の年間計画の作成と見直しを行う。 ・麓ふれあい祭当日及びふれあい祭へ向けての準備等に計画的に取り組む。							指導教諭 学年主任 【心育てチーム】
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒65%以上	・学級で全員一緒に遊ぶ日を設定したり(週1回程度)昼休みや業間休みには、外遊びの声かけをしたりする。 ・「麓っ子ががんばり表」を活用し、継続的な指導を行う。							阿嘉 養護教諭 鈴木 中村 【体づくりチーム】
	②「望ましい生活習慣の形成」	②「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている児童80%以上	・交通安全教室を行ったり、校内外の危険箇所を知らせたりすることで、交通規則の遵守と児童の安全に関する意識を高める。							
	③「安全に関する資質・能力の育成」	③児童の交通事故を0(ゼロ)にする。								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定する。(毎週金曜日18:00を厳守) ・月間時間外校内業務の45時間以内を目標にする。							教頭 主幹教諭
	○負担感、多忙感の解消	○報告、連絡、相談を密にし、課題に対してチームで取り組み、負担感を軽減する。	・児童や保護者との話し合いは複数対応を原則とし、協議しながら、統一した方針で対応する。							教頭 主幹教諭 指導教諭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観や学年・学級通信等を通して、教科「日本語」の実践を保護者や地域に広める。							主幹教諭 指導教諭
○特別支援教育の充実	○個に応じた支援体制の確立のための教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施(5月・8月・1月) ・ケース会議の開催、情報共有							城戸 久保山 【特別支援学級担当】

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------